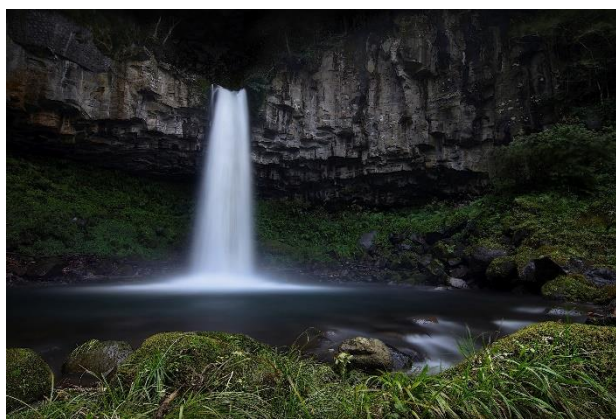


人と自然と文化をつなぐ 「わさびの郷」 八岳



①伝統と人の営みがつくりだす
わさびの郷の景観



②天城山の自然に癒される
萬城の滝周辺の景観



③地域の特性を活かした
グリーン・ツーリズム

当該地区は、「わさびの郷の景観」、「^{ばんじょう}萬城の滝周辺の景観」、「地域の特性を活かしたグリーン・ツーリズム」が（主）伊東修善寺線、（主）伊東西伊豆線、市道萬城線により連携して一つの観光地エリアとなっています。それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 伝統と人の営みがつくりだす「わさびの郷」

(1) わさび田



120年以上継承される伝統的な畳石式

天城山系の豊かな自然資源と地域の地理的特徴を活かし育まれた畳石式のわさび田の美しい景観や、豊かな生態系、巧みな栽培技術は、「静岡水わさびの伝統栽培」として世界農業遺産にも認定されています。一方で、次世代の担い手の確保、育成が課題となっています。わさび田周辺の環境保全はもちろんのこと、わさびの生産振興、観光への活用、目的に応じたエリア設定等、持続的な発展につながるルールづくり、仕組みづくりが必要です。

また、わさび田を眺望する視点場整備、食や体験等の提供、わさび田を新たな観光（歓交）に活用するためのルール整備等が求められており、観光用わさび田の整備、グリーン・ツーリズムへの展開が期待されています。

(2) まち並み



地域の生活にとけこんだ景観

わさび田周辺は元々農業地域となっており、現在でもわさび田に通じる沿道には農地や民家が点在しており、良好な農村景観を形成しています。また、周辺には地域で管理しているわさび田やわさび加工店、販売店も立地しており、日常生活を通じて生産者、加工・販売者、地元住民がそれぞれの立場で景観形成に関わっています。

わさび田へのアクセス道路をおもてなしの空間として演出するため、今後、農業と観光が両立するためのまちづくり施策の推進とともに、景観形成に向けた地域住民の意識醸成を図っていくことも必要です。

(3) 地域の活動



生産者をサポートし次世代に継承するための活動

地元主体の活動組織である「^{やつおか}八岳地域づくり協議会」により、生産者に配慮した周遊ルートの設定やわさび田観光マップが作成されています。わさび田ガイドモニターツアーや、地元の子どもたちに本物のわさびを身近に感じてもらうため、地域のまつりでわさび丼を振舞うなどの活動をしています。

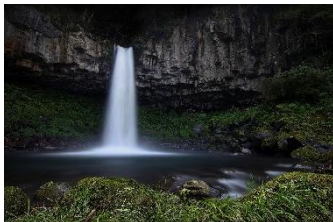
郷土の誇りである「わさびの郷」の保全と活用の観点から、観光客を受入れ案内する体制を構築し、わさびを地域振興に結びつけるため、旧八岳小学校の利活用や休耕しているわさび田の整備などが求められています。

〈景観形成の主な課題〉

- ・わさびを見るだけで終わってしまい滞在時間が短い
- ・生産と観光の両立が難しい
- ・視点場の不足
- ・施設の老朽化
- ・農業を観光に活かすための体制が整っていない
- ・景観を阻害する施設がある
- ・景観に対する地域住民の意識不足

②天城山の自然に癒される萬城の滝周辺の景観

(1) 萬城の滝



天城山に水源をもつ名瀑

狩野川の支流、地蔵堂川じぞうどうの上流にかかる高さ約20m、幅約5mの滝。以前は滝の裏側から観賞することができる「裏見の滝」として、地元や観光客に愛されていましたが、滝裏側への遊歩道は安全管理上、現在は通行が禁止されており、新たな視点場の整備が求められています。

また、誰でも園内をのんびり散策しながら、より一層眺望を楽しめる空間とするための展望台や散策路の整備、観光名所にふさわしい景観に配慮した施設への改善や維持管理が必要です。

(2) キャンプ場



自然の静けさに囲まれた癒しの空間

萬城の滝に隣接したキャンプ場には駐車場が整備され、36張り分のテント、屋根付きのテラスがあるロフト付きのバンガローが10棟あります。ひとつひとつのサイトが離れており、四季を通じて豊かな自然環境の中、バーベキューやハイキングが楽しめ、家族連れに人気のキャンプ場です。

炊事場、バーベキュー場、シャワー施設の他、イベントを開催できる体験棟もありますが、観光客を受け入れるためのユニバーサルデザインや自然景観に配慮した施設整備、安全にハイキングを楽しむための遊歩道整備、八岳地区の多様な地域資源を情報発信する拠点としての機能が求められています。

(3) 自然体験



天城山系の大自然を遊びつくす

夏季には萬城の滝上流でキャニオニング（歩く、泳ぐなど自分の体を使って渓谷を下っていくアウトドアスポーツ）を体験することができます。

サイクリストが自然を楽しむためのルールづくりやルート設定、環境整備、わさびを活用したイベントなどの地域振興施策の推進などが求められています。

〈景観形成の主な課題〉

- ・滝を見るだけで終わってしまい滞在時間が短い
- ・滝の魅力を活かした視点場が少ない
- ・滝つぼ周辺公園の維持管理不足

③地域の特性を活かしたグリーン・ツーリズム

(1) 田舎暮らし体験



地元住民との感動交流と農業体験

豊富な自然資源を活かしたわさび栽培や稲作が行われてきた八岳地区^{やつおか}では、里山での田舎体験や農業体験が来訪者の目的のひとつになっています。一方で、体験受入れのための体制や施設が十分でないため、グリーン・ツーリズムに必要な受入れ体制や滞在施設整備が必要です。

地区内には住居を活用した民泊施設もありますが、農業体験など地域資源を活用するための一体的な体制が整っていないため、休耕田の利活用や空き家を活用した民泊施設への改修など、田舎体験と農業体験をセットにした地元住民との交流を通じた滞在型観光交流（歓交）モデルの検討も求められています。

(2) 地域資源の活用



わさびを活用した賑い創出

「わさびの郷」の魅力を発信し、地域資源のさらなる活用、観光客受入れ体制構築のためには、萬城の滝^{ばんじょう}周辺や旧八岳小学校などを活用した、地域内外の交流を支える地元の人も使いやすい拠点を整備する必要があります。

伊豆半島ジオパーク推進協議会などと連携したわさび田見学のためのガイド受付、eバイクレンタル、収穫体験の受付、八岳地区についての展示やアクティビティの拡充、わさびを使った食事の提供、温泉の活用、わさびの情報発信、6次産業化としての拠点など、地域資源を活用した地域振興が求められています。

(3) 情報発信



グリーン・ツーリズムと地域振興を結びつける拠点

特産品の紹介や豆腐作り体験などを通じて、地域の活性化を図ることを目的とした「季多楽^{きたら}」では、観光案内、日帰り入浴施設紹介も行っています。田舎体験の情報発信や地元農家と消費者の交流などグリーン・ツーリズムの拠点にもなっています。

その他にも、地域内外の交流拠点として、「六仙の里^{ろくせん}」の情報発信機能強化、施設の充実、交流イベントの実施などが求められています。

〈景観形成の主な課題〉

- ・来訪者の受け入れ体制が構築されていない
- ・グリーン・ツーリズムに必要な滞在施設が少ない
- ・ビジターセンターがない
- ・わさび田の価値（世界農業遺産）を効果的に情報発信できていない
- ・他団体との連携が不十分

人と自然と文化をつなぐ「わさびの郷」

世界農業遺産にも認定されているわさび田をはじめとした農業資源、天城山の自然資源の保全、活用、発信により、地域特性を活かした景観づくりを推進する。

わさび田・農業景観ゾーン わさび田分布

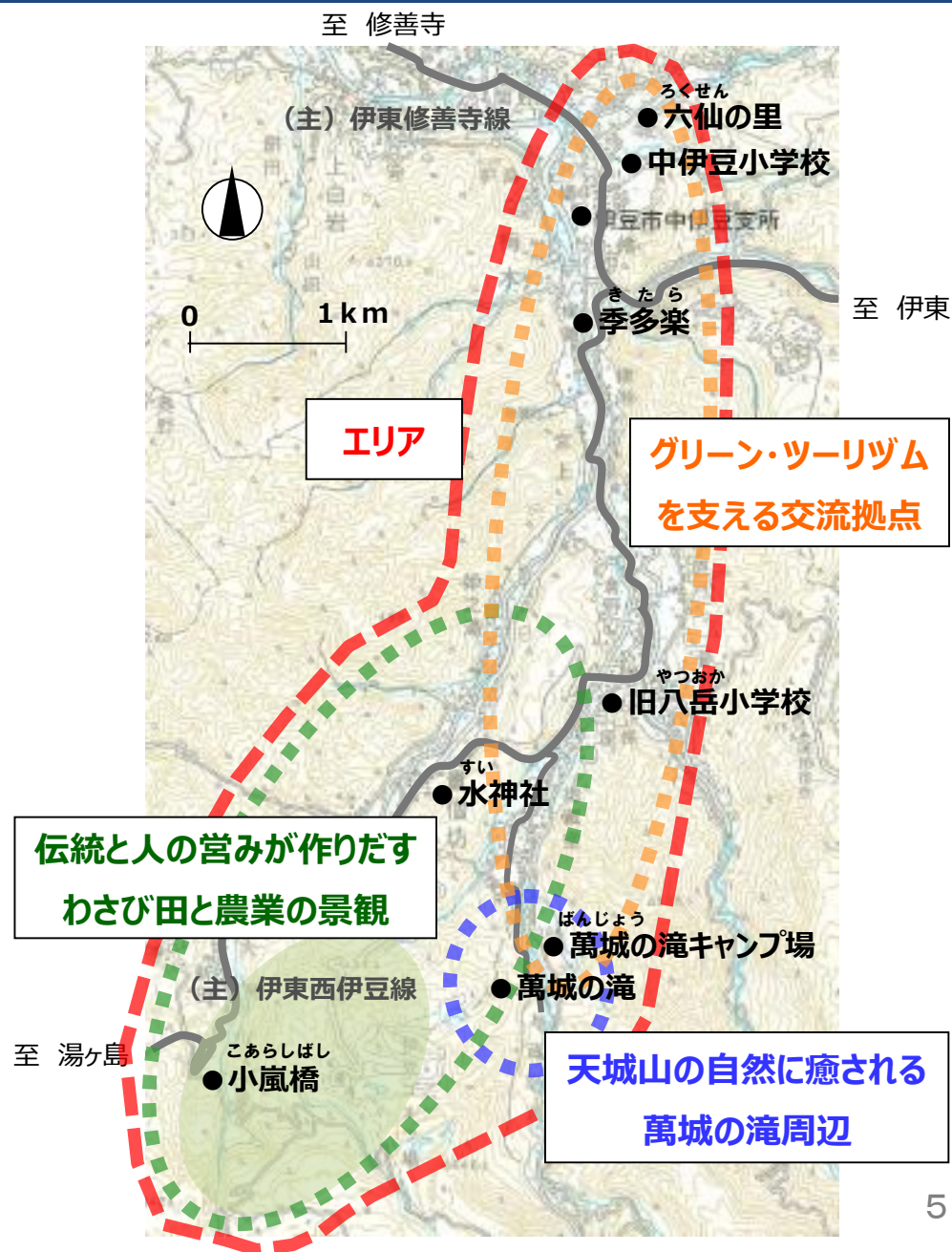
地域の生活にもとけこみ、生産者が守り続けている伝統的な畳石式栽培のわさび田、稲作などの農業資源の保全、生産振興とともに観光への対応を図る。

萬城の滝周辺ゾーン

隣接するわさび田、キャンプ場とともに天城山の大自然を堪能できるゾーン。新たな魅力の創出、周遊性の向上を図る。

交流拠点ゾーン

わさびなどの地元農産物の加工・販売店などが点在し、グリーン・ツーリズムの情報発信拠点を有するゾーン。情報発信の強化、観光客受け入れ体制の構築を図る。



地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

人と自然と文化をつなぐ 「わさびの郷」八岳

目標 1

伝統と人の営みによる
「わさびの郷」の景観づくり

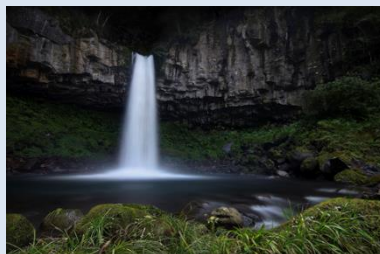


景観づくり方針

- ①美しい眺望をより印象的に見せる場づくり
- ②伝統と生業、まちなみを守り育てる体制づくり

目標 2

自然に癒される
ばんじょう 萬城の滝周辺の景観づくり



景観づくり方針

- ①安心、安全に自然資源をゆつくり楽しめる景観づくり
- ②自然資源と共存した魅力ある景観づくり

目標 3

地元との交流を通じて
自然と農を楽しむ景観づくり



景観づくり方針

- ①交流拠点の整備とネットワークの形成
- ②地元と観光客が「かんこう 歓交」する地域振興の場づくり

目標1 伝統と人の営みがつくりだす「わさびの郷」の景観づくり

方針1-① 美しいわさび田の眺望をより印象的に見せる場づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者と景観に配慮したわさび田の視点場、駐車場整備 ●わさび田見学のルールづくり ●世界農業遺産にふさわしい環境づくり（景観に配慮した説明看板の設置） ●ヤマハノキによる景観づくりの研究 	<ul style="list-style-type: none"> ●市など ●事業者、関係団体、県、市など ●関係団体、県、市など ●事業者、関係団体、市など
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ●生産性と景観に配慮した寒冷紗<small>かんれいしゃ</small>の研究 ●寒冷紗<small>かんれいしゃ</small>の景観改善、統一 <p>※「寒冷紗」とは・・・遮光・遮熱・防霜・防虫・防鳥・防乾を目的とした、農作物を覆う布。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者、関係団体、県など ●事業者

方針1-② 伝統と生業、まちなみを守り育てる体制づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●見学ルールについての周知、ガイド育成 ●わさび田のエリア設定（生産用、観光用など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●関係団体、市など ●事業者、関係団体、市など
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統栽培の継承（担い手の確保、育成） ●暮らし・農村の景観、伝統、文化などを次世代に継承するための担い手育成 ●景観形成に向けた地域住民の意識醸成（景観重点地区指定の検討） ●まち並み、自然景観保全のルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民、関係団体など ●地域住民、関係団体など ●地域住民、事業者、関係団体、市など ●地域住民、事業者、関係団体、市など

目標2 自然に癒される^{ばんじょう}萬城の滝周辺の景観づくり

方針2-① 安心、安全に自然資源をゆっくり楽しめる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観とユニバーサルデザインに配慮したトイレ、脱衣所、シャワー室などの施設整備 ● サイクリストのためのルール設定、ルート選定、周遊ツアーの実施 ● サイクリストのための環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係団体、市など ● 関係団体、県、市など ● 関係団体、市など
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然景観に配慮した萬城の滝の展望台整備 ● 萬城の滝、キャンプ場周辺を周遊するための遊歩道、散策道の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係団体、市など ● 関係団体、市など

方針2-② 自然資源と共存した魅力ある景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 滝つぼ周辺の公園整備（親水空間、ベンチ、広場など） ● 観光用と生産用のわさび田のエリア設定 ● キャンプ場周辺の自然景観、体験棟を活用したイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係団体、市など ● 事業者、関係団体、市など ● 事業者、関係団体など
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 裏見のための視点場整備 ● 萬城の滝周辺の休耕しているわさび田の整備 ● わさびを活用したイベントなどの地域振興施策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係団体、市など ● 事業者、関係団体など ● 事業者、関係団体、市など

目標3 地元との交流を通じて自然と農を楽しむ景観づくり

方針3-① 交流拠点の整備とネットワークの形成

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● わさび田を案内するガイド、eバイクレンタル受付の体制構築 ● 伊豆半島ジオパーク推進協議会、ジオリアとの連携（地域資源の価値の共有） ● 他団体、他地域との連携 ● 効果的な情報発信 ● 交流イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民、関係団体、市など ● 事業者、関係団体、市など ● 関係団体、市など ● 地域住民、関係団体、事業者、市など
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内外の交流を支える拠点づくり（萬城の滝周辺、旧八岳小学校など） ● 情報発信拠点の施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民、事業者、関係団体、市など ● 市など

方針3-② 地元と観光客が「^{かんこう}歓交」する地域振興の場づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● わさびの収穫や加工体験、農泊体験の実施 ● 関係人口など交流人口獲得に向けた観光モデルの検討 ● わさびを活かした食文化の構築、提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者、関係団体など ● 地域住民、事業者、関係団体、市など ● 事業者、関係団体
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域資源への愛着や地域の魅力の理解に繋がる取組（小中学校での教育活動の推進） ● 空き家、休耕田を活用した農家の受入れ支援、移住定住促進、新たな販いの創出 ● グリーン・ツーリズムに必要な滞在施設整備、民泊促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民、事業者、関係団体、市など ● 地域住民、事業者、関係団体、市など ● 地域住民、事業者、関係団体、市など

対象エリアの入口・アクセス部における景観形成

当該エリアの入口、あるいはアクセス道路となる箇所（区間）で実施する景観形成を以下に示します。

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業的価値を示す景観に配慮したサイン整備 ● 観光案内看板の適正な設置、デザインの統一化 ● 違反屋外広告物に対する是正措置 ● 適切な屋外広告物の規制誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県、市など ● 市など ● 市など ● 市など
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 防護柵の修景 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県、市など

全体

- ・わさび田見学のルールづくり
- ・見学ルールについての周知、ガイド育成
- ・観光用と生産用のわさび田のエリア設定
- ・サイクリストのためのルール設定、ルート選定、周遊ツアーの実施、環境整備
- ・生産性と景観に配慮した寒冷紗の研究
- ・寒冷紗の改善、統一
- ・暮らし、農村の景観、伝統、文化、伝統栽培の次世代への継承（担い手の確保、育成）
- ・景観形成に向けた地域住民の意識醸成（景観重点地区指定の検討）
- ・まち並み、自然景観保全のルールづくり

- 凡例
- 紫字：短期的な取組み
 - 緑字：中・長期的な取組み
 - ：わさび田・農業景観ゾーン
 - ：わさび田分布
 - ：萬城の滝周辺ゾーン

- ・生産者と景観に配慮したわさび田の視点場、駐車場整備
- ・世界農業遺産にふさわしい環境づくり（景観に配慮した説明看板の設置）
- ・ヤマハンノキによる景観づくりの研究



至 修善寺

● 旧八岳小学校

● 水神社

(主) 伊東西伊豆線

- ・景観とユニバーサルデザインに配慮したトイレ、脱衣所、シャワー室などの施設整備
- ・周遊するための遊歩道整備
- ・自然景観、体験棟を活用したイベントの実施

● 萬城の滝キャンプ場

● 萬城の滝

- ・滝つぼ周辺の公園整備（親水、ベンチ、広場など）
- ・周遊するための散策道の整備
- ・自然景観に配慮した展望台整備
- ・裏見のための視点場整備
- ・休耕しているわさび田の整備
- ・わさびを活用したイベントなどの地域振興施策の推進



0 500m

至 湯ヶ島

● 小嵐橋

目標3 地元との交流を通じて自然と農を楽しむ景観づくり

6. 景観施策(案)のイメージ図

全体

- ・伊豆半島ジオパーク推進協議会、ジオアとの連携
(地域資源の価値の共有)
- ・他団体、他地域との連携
- ・わさびの収穫や加工体験、農泊体験の実施
- ・関係人口など交流人口獲得に観光モデルの検討
- ・農業的価値を示す景観に配慮したサイン整備
- ・わさびを活かした食文化の構築、提供
- ・地域資源の愛着や地域の魅力の理解に繋がる取組
(小中学生を対象とした教育活動の推進)
- ・防護柵の修景

- 凡例
- 紫字：短期的な取組み
 - 緑字：中・長期的な取組み
 - ：わさび田・農業景観ゾーン
 - ：萬城の滝周辺ゾーン
 - ：交流拠点ゾーン



- ・空き家、休耕田を活用した農家の受入れ支援、移住定住促進、新たな賑わい創出
- ・グリーン・ツーリズムに必要な滞在施設整備、民泊促進

